

研究課題名	同種造血幹細胞移植後患者におけるウイルス抗体価の検証
研究の意義・目的	同種造血幹細胞移植は難治性血液悪性腫瘍に対する免疫細胞療法ですが、移植後はウイルス抗体価が消失または低下していることが知られています。なかでも、麻疹・風疹・ムンプス・水痘/帯状疱疹ウイルスはワクチンで予防可能な疾患でワクチンによる予防効果が高く、移植後にワクチンを接種することが推奨されています。ただ、患者さんごとにより、ウイルス抗体価の推移は異なっており、抗体価低下の因子について十分なデータがありません。また、ワクチン接種効果についても健常人とは異なり、抗体価の上昇が不十分である可能性も指摘されています。本研究では移植後の保存されている患者さんの血液を HU フロンティア株式会社に送り、麻疹・風疹・ムンプス・水痘/帯状疱疹ウイルスの抗体価を測定してもらい、抗体価の変化およびその消失・低下リスクやワクチン接種後のウイルス抗体価上昇不良因子の抽出を行います。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	移植後ワクチン接種を受けられた方のうち、過去に実施した研究（同種造血幹細胞移植研究における検体の保存と研究利用（OCU15-1）承認番号 3169）にご協力いただいた方または 2012 年 12 月から 2014 年 12 月までに当科の検体保存事業にご協力いただいた方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	下記の診療情報および過去に実施した研究（同種造血幹細胞移植研究における検体の保存と研究利用（OCU15-1）承認番号 3169）でいただいた血液検体または 2012 年 12 月から 2014 年 12 月までに当科の検体保存事業でいただいた血液検体を本研究に使用させていただきます。 診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、治療法、検査データ
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 西本光孝 【委託先】HU フロンティア（SRL）検査会社
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや血液は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報や保存試料が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。

連絡先	公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学 担当者氏名：西本光孝 電話番号：(06) 6645-3881
------------	--